

令和4年度6月補正予算の主な事業

参 考 資 料

徳 島 県

目 次

	頁
1 アフターコロナに向けた取組みの加速	
○社会経済活動の回復	
■「社会経済活動の回復」に向けた強力な需要喚起（第3号補正）	
（1） 新 「頑張る飲食店」を核とした県内経済の回復	1
新 「とくしまグルメ」プレミアムクーポン事業	
新 徳島を元気に！「頑張る地域」消費活性化事業	
（2）公共交通の需要喚起による社会経済活動の活性化	2
公共交通利用促進事業	
（3） 新 徳島プレミアム生活衛生クーポン第2弾	3
新 徳島プレミアム生活衛生クーポン2022事業	
■県産品の新たな販路開拓・消費拡大	
（4） 新 「とくしまブランド（県産品）」を世界へ！	4
新 頑張る輸出事業者・伴走支援モデル事業	
（5） 新 首都圏で展開！「旬の県産食材」体感・販売拡大事業	5
○県民生活への支援	
■県民生活へのきめ細やかな支援	
（6）子ども食堂の全県的展開の加速	6
新 ひろがれ！子ども食堂応援事業	
（7） 新 掴め消費者ニーズ！県産米消費拡大事業	7
（8）官民連携による生活困窮者の支援体制の整備	8
新 官民連携による「支援ネットワーク」構築事業	
（9）地域に密着したひきこもり支援施策の推進	9
新 ひきこもり支援体制強化事業	
○感染症に強い徳島づくり	
■変異株等に備えた体制強化	
（10）新型コロナウイルス感染症検査体制等の更なる強化	10
新型コロナウイルス検査・変異株サーベイランス体制強化事業	
（11）感染症対応人材確保対策の強化	11
新 「感染管理認定看護師」養成確保事業	
保健師等感染症対応人材確保事業	

2 未来に繋がる取組みの強化

■「2025年大阪・関西万博」を見据えた魅力発信の強化

- (12) ⑨ 「2025年大阪・関西万博」を見据えた魅力発信の強化 12
 - ⑨ 徳島「まるごとパビリオン」ゲートウェイ事業
 - ⑨ とくしまバーチャルパビリオン発信力強化事業

■スマート農業の加速とものづくり産業の新たな雇用創出

- (13) ⑨ 「AIで収穫！」農作物生産技術DX推進事業 13
- (14) 新たな雇用創出による「ものづくり産業」の活性化 14
 - ⑨ 徳島ものづくり産業雇用創造プロジェクト

■学校を拠点とした地方創生と学びの充実

- (15) ⑨ 高校と地域を魅力化！未来へつなぐ総合寄宿舍整備事業 15
- (16) ⑨ 教育DXの基盤となる情報モラル教育の推進 16
 - ⑨ GIGAスクールにおける学びの充実「情報モラル教育推進事業」
- (17) 3Sとの連携による教育相談体制の強化 17
 - 3S活用モデル事業

① 「頑張る飲食店」を核とした県内経済の回復



【令和4年度6月補正予算額 1,200,000千円】

1 目的 長期化するコロナ禍の影響により、大きく冷え込んだ外食産業等の需要拡大策を実施し、社会活動の回復と地域経済の活性化を図る。

2 事業内容 (1)① 「とくしまグルメ」プレミアムクーポン事業 1,140,000千円

県内の飲食店で利用できる「プレミアム付き食事券」を発行し、コロナ禍に伴う外食需要の回復を図るとともに、安全・安心な飲食の場の定着・拡大を図る。

○価格設定等

1セット7,500円（500円×15枚）のクーポン券を5,000円で販売
 プレミアム率50%（参考：過去の「Go To Eatキャンペーン」はプレミアム率25%）

○参加対象店舗

コロナ対策三ツ星店・新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン実践店

○クーポン券利用期間

令和4年8月1日（月）から令和4年12月31日（土）

(2)① 徳島を元気に！「頑張る地域」消費活性化事業 60,000千円

深刻な影響を受けた小売り・飲食サービス業などの事業継続を促進するため、地域が一体となって取り組む地域活性化イベントを支援する。

○補助対象者

県内事業者で構成される団体（商工団体、商店街振興組合、事業協同組合など）

○補助率・補助上限額

【補助率】：定額（10／10）、【上限額】：最大200万円

担当：商工政策課

公共交通の需要喚起による社会経済活動の活性化



【令和4年度6月補正予算額 410,000千円】

1 目的 長期化するコロナ禍に原油価格・物価高騰も加わり、かつてない厳しい状況となっている公共交通の利用を促進するため、「プレミアム交通券の発行」や「貸切バススマート利用の推進」を行い、アフターコロナを見据えた公共交通の需要喚起による「社会経済活動の活性化」を図る。

2 事業内容 公共交通利用促進事業

(1) とくしまプレミアム交通券の発行 330,000千円
 県内公共交通機関等の需要を喚起する「プレミアム交通券」を発行する。

○内容

- ・1セット額面5,000円（500円×10枚）の交通券を半額の2,500円で販売
- ・発行数 100,000セット（一人4セットまで購入可能）

○利用可能交通機関

- ・路線バス、高速バス、鉄道、タクシー、フェリー、航空、自動車運転代行

(2) 貸切バス「スマート利用」応援事業 80,000千円
 スマートで便利な移動手段を創出するため、十分な座席スペースにより、「快適と安全」を売りにしたバス旅行商品の造成に要する経費を支援する。

○内容

- ・県内貸切バスを活用したバス旅行商品を対象に、3密回避を行うための車両の大型化や増車に要する経費を支援

○対象者

- ・県内貸切バス事業者、県内貸切バスを利用する旅行会社

担当：次世代交通課

⑧ 徳島プレミアム生活衛生クーポン第2弾



【令和4年度6月補正予算額 330,000千円】

1 目 的 長期化するコロナ禍により、利用者数が低迷するとともに、急激な原油・原材料価格の高騰に直面している「生活必需サービス」の利用促進及び地域経済の活性化を図るため、県民が「お得感」を実感できる生活衛生4業種（理容、美容、クリーニング及び公衆浴場（銭湯））の各店舗で利用可能な「徳島プレミアム生活衛生クーポン」の第2弾を発行する。

2 事業内容 ⑧ 徳島プレミアム生活衛生クーポン2022事業

(1) 販売価格

1セット5,000円クーポンを2,500円で販売
(500円×10枚を1セット)

(2) 発行数

100,000セット（一人4セットまで購入可能）

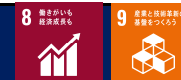
(3) 販売方法

「はがき」または「電子メール」での事前申込を行い、抽選後、当選者に送付する購入証と引き換えに、指定の窓口で販売

(4) 利用可能店舗

徳島県下全域の理容、美容、クリーニング及び公衆浴場（銭湯）の店舗のうち、新型コロナウイルス感染症対策「ガイドライン実践店ステッカー」を掲示している店舗

新「とくしまブランド（県産品）」を世界へ！



【令和4年度6月補正予算額 30,000千円】

1 目 的 長期化するコロナ禍の影響に加え、緊迫化する国際情勢などによる原油・原材料価格等の高騰に伴い、厳しい経営環境に直面する地酒や工芸品などの県産品製造者が、縮小・途絶した商流の再構築を図る取組みを支援し、事業継続と回復を促進する。

2 事業内容 **新 頑張る輸出事業者・伴走支援モデル事業** **30,000千円**

(1) 支援する取組み

コロナ禍の拡大や長期化に伴う「県産品需要の減少」や「酒類の供給制約」により、大きな影響を受けている県産品（地酒、工芸品など）の製造者が、マーケットに関する知見を有する支援事業者（代理店、販売店等）を活用し、挑戦する新たな販路再構築への取組みを対象とする。

(2) 実施概要

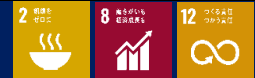
- 複数の県産品製造者が支援事業者のサポートを受け、新たに国内外の販路開拓に向けた共同事業を公募し、外部委員会で選考する。
- 事業結果は、県内輸出の振興・発展を図るため、徳島県貿易協会やとくしま経営塾「平成長久館」が開催するセミナーを活用し、横展開を図る。

(3) 委託費

10,000千円／事業×3提案（仕向地：アジア、欧州、米国など）



首都圏で展開！「旬の県産食材」体感・販売拡大事業



【令和4年度6月補正予算額 10,000千円】

1 目的 長引くコロナ禍の影響により、本県農林水産物の需要や消費が伸び悩む中、アフターコロナを見据えた反転攻勢に向けて、首都圏において新鮮で高品質な「県産食材」の販路・販売の拡大に繋げるため、発信力の高い販売チャンネルを新たに活用し、本県が誇る「旬の県産食材」を体感できる場を戦略的に提供する。

2 事業内容 **新** 首都圏で展開！「旬の県産食材」体感・販売拡大事業 10,000千円

○ 首都圏において広く展開している大手飲食店と連携を図り、すだちやなると金時を使用した「新たなメニュー」を提供する「旬の徳島フェア」を店舗一斉で集中的に実施することにより、首都圏の多くの消費者に徳島の豊かな「食」を体感いただく機会を創出する。

【実施内容（予定）】

・期間：第1弾 8月～9月 「旬の徳島すだちフェア」
第2弾 10月～12月 「旬の徳島なると金時フェア」

・数量：10万食

・実施店舗：100店舗以上

○ 「新たなメニュー」の提供に併せて、各店舗において「県産食材」をはじめ、「文化・観光」など、「徳島」の魅力発信に繋がる効果的な広報プロモーションを積極的に展開する。

子ども食堂の全県的展開の加速



【令和4年度6月補正予算額 3,000千円】

1 目的 子どもたちが、より身近な地域で、多様な世代と交流し、安心して過ごすことのできる「居場所づくり」を推進するため、「子ども食堂」の全県的展開を支援する。

2 事業内容

⑨ ひろがれ！子ども食堂応援事業

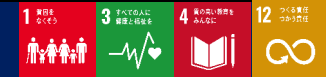
(1) 「子ども食堂」の開設に当たり課題となっている、運営や衛生管理等に関する様々な不安を解消するため、経験豊富な運営者や関係機関によるサポートを実施。

- 子ども食堂開設や運営に関するサポート対応
- 運営団体向けの食品衛生に関する研修会の開催

(2) 「子ども食堂」の地域的偏在を解消し、全県的展開につなげるため、未開設地域における「子ども食堂」活動の認知度向上と、新規開設の機運醸成に向けた取組みを実施。

- 「子ども食堂」未開設地域において、地域住民や関係機関と連携し、試験的に「子ども食堂」を実施

⑨ 掴め消費者ニーズ！県産米消費拡大事業



【令和4年度6月補正予算額 24,000千円】

1 目 的

長期化しているコロナ禍に伴う外食需要減少の影響等により、米価が低迷する中、令和4年産米についても、販売価格の厳しい状況が懸念されていることから、県産米の一層の需要を喚起し、消費拡大を図るため、若者世代に対し認知度向上に向けた取組みを展開するとともに、市場の新たな消費者ニーズに対応し、販路開拓・拡大のための包装機械の改良等を支援する。

2 事 業 内 容

⑨ 掴め消費者ニーズ！県産米消費拡大事業 24,000千円

(1) 若者世代への県産米消費拡大

SDGs、食育・地産地消の推進を図る観点から、若者世代への更なる県産米の推進に向け、県内の子ども食堂及び小中高生に対し県産米を提供

(2) 小袋化による販路拡大・開拓体制強化

消費者の小袋化ニーズに対応するため、必要な袋詰め機械の簡易改良及び新たな小袋用包装デザイン作成等に係る経費を支援

【対象者】：農業者の組織する団体

【補助率】：1／2以内

【上限額】：最大100万円

(3) 量販店での販売促進支援

新米販売のスタートダッシュに向けた、関西圏を中心とする量販店における新米増量キャンペーン販売促進活動を支援

【対象者】：農業者の組織する団体

【補助率】：定額

担当：もうかるブランド推進課

官民連携による生活困窮者の支援体制の整備



【令和4年度6月補正予算額 5,000千円】

1 目的 コロナ禍における物価高騰等により、生活に困窮されている方を支援するため、自立相談支援機関等と民間団体が連携した「支援ネットワーク」の構築を推進する。

2 事業内容 **① 官民連携による「支援ネットワーク」構築事業** 5,000千円

(1) プラットフォームの設置
官民連携による支援体制の構築に向けた検討を行うため、自立支援の現場で取組みを行っている「自立相談支援機関等」に加え、幅広い支援活動に取り組む「民間団体」を含めた「プラットフォーム」を設置する。

(2) 支援ネットワークの構築
官民連携により設置する「プラットフォーム」において、日々の支援活動を通じて把握している「実情、課題、支援ニーズ」などに加え、各団体が持つ独自の「支援資源」を共有するとともに、

「自立相談支援機関等」と「民間団体」をつなぎ合わせることで、地域や各団体の実情に応じた、官民連携の「支援ネットワーク」の構築を推進する。

(3) 民間団体に対する活動支援
先行き不透明な新型コロナや物価高騰等の影響による支援ニーズにきめ細やかに対応する体制を構築するため、「民間団体」が行う「新たな支援体制の整備」や「民間支援活動の拡大」などの取組みに対して、経費を補助する。

【補助率】：10／10 【上限額】：最大50万円（5団体程度）

担当：国保・自立支援課

地域に密着したひきこもり支援施策の推進



【令和4年度6月補正予算額 3,000千円】

1 目的 孤独感や孤立感、生きづらさを感じるひきこもり状態にある当事者及びその家族等が、身近な地域において支援が受けられるよう、地域での支援体制を強化する。

2 事業内容 **⑨ ひきこもり支援体制強化事業** 3,000千円

(1) 地域に密着したひきこもり支援者の会議・研修会・ワークショップの実施

支援者向け会議や研修会、ワークショップを通して、ひきこもり支援の理解を深め、地域に根ざした取組みを促進し、当事者及びその家族が安心して相談できる環境づくりを行う。

- ・各圏域ごとに、市町村の担当者や支援団体、民生委員、精神保健福祉ボランティア等支援者向けの会議及び研修会を実施。
ワークショップ・研修会費 700千円

(2) ひきこもり支援の普及・啓発活動

ひきこもりに関して悩みや不安を抱える県民が、適切な支援を受けられるよう相談窓口や関係機関の情報を集約したリーフレットを作成するとともに、ケーブルテレビやSNS等による効果的な情報発信を行う。

普及・啓発活動費 2,300千円

担当：健康づくり課

新型コロナウイルス感染症検査体制等の更なる強化



【令和4年度6月補正予算額 860,894千円】

- 1 目的
- 新たな変異株に即応するため、変異株のサーベイランス（監視）体制を強化するとともに、濃厚接触者等への迅速・スムーズな検査体制を確保する。
また、感染再拡大時において「良質かつ適切な医療」を提供するため、新型コロナウイルス感染症患者の入院医療費等の確保を図る。

2 事業内容 **新型コロナウイルス検査・変異株サーベイランス体制強化事業** 860,894千円

(1) 検査体制の強化

- 検査関係機器の整備や民間検査機関の活用により、変異株のサーベイランス体制を強化する。
- 濃厚接触者等への行政検査について、診療・検査協力医療機関と連携した体制を確保する。

(2) 入院医療費等の確保

- 感染再拡大時において「良質かつ適切な医療」を提供するため、入院医療費等の確保を図る。

感染症対応人材確保対策の強化



【令和4年度6月補正予算額 136,398千円】

1 目的 新型コロナウイルス感染症等から県民の命を守るため、「感染管理認定看護師」や潜在保健師等の人材バンク「IHEAT」登録者の更なる養成を図る。

2 事業内容 (1) **新「感染管理認定看護師」養成確保事業** 14,100千円

日本看護協会の認定を受け、「感染管理認定看護師」養成に係る教育課程を設置・運営する教育機関に対し、必要な経費の補助を行い、更なる養成を図る。

【補助率】：10/10

【補助対象】：「感染管理認定看護師」養成に係る教育課程の開講及び運営に係る経費

(2) **保健師等感染症対応人材確保事業** 122,298千円

「IHEAT」に登録した潜在保健師等を「感染症対応の即戦力」として養成し、派遣することにより、保健所等の体制強化を図る。

- ◆研修：感染症に関する基本的な講義
疫学調査等の実技形式訓練 等
- ◆派遣：研修を受けた保健師等を保健所等へ派遣

①「2025年大阪・関西万博」を見据えた魅力発信の強化



【令和4年度6月補正予算額 39,500千円】

1 目的

本県も「大阪・関西万博」へ積極的に参画し、「万博は『ゲートウェイ』、徳島『まるごとパビリオン』」とのコンセプトのもと、「徳島ならではの」コンテンツを世界に向けて発信するため、本県への「ゲートウェイ機能」を担うウェブサイトの構築や、プレオープンした「とくしまバーチャルパビリオン」のさらなる進化を図り、開幕に先行した機運醸成に取り組む。

2 事業内容

① 徳島「まるごとパビリオン」ゲートウェイ事業

19,500千円

大阪・関西万博に関する徳島の情報を、一元的に掲載するウェブサイトを構築し、積極的な情報発信を行うことで、万博への機運醸成を図るとともに、徳島「まるごとパビリオン」への「新たな人の流れ」を創出する。

＜掲載する情報＞

- ・ 徳島県の万博に向けた取組状況
- ・ 県内の産業技術、観光、食、文化などの魅力発信
- ・ 「県民の皆様と共に創る万博」に向けての意見募集 等

② とくしまバーチャルパビリオン発信力強化事業

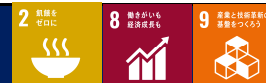
20,000千円

「未来技術のショーケース」である万博に向け、メタバース空間内の「とくしまバーチャルパビリオン」における交流イベントや、AR・VR技術を活かした体験コンテンツを活用し、新たなスタイルによる情報発信の強化を図る。



「とくしまバーチャルパビリオン」

⑨ 「A I で収穫！」 農作物生産技術D X 推進事業



【令和4年度6月補正予算額 99,593千円】

1 目 的 施設栽培等における収穫作業時間の削減や労働負荷を軽減するため、
A I による果実認識技術等を活用した自動収穫ロボットの開発に取り組む。

2 事業内容 ⑨ 「A I で収穫！」 農作物生産技術D X 推進事業 99,593千円

【内容】

キュウリの施設栽培において、画像認識A I とロボットアーム技術を融合させた
自動収穫ロボットを開発し、技術の改良と速やかな現場実装のための実証試験を実施する。

- ・ 収穫できる果実を認識し、切断部位を決定するA I 技術の開発
- ・ 収穫のためのロボットアームと回収機の開発
- ・ 自動収穫に適した栽培様式の検討
- ・ 生産現場との連携による技術の開発と実証
- ・ ユズやスダチ等への技術展開の検討

【共同研究機関】

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 等

【開発期間】

令和4年度から6年度

担当：経営推進課

新たな雇用創出による「ものづくり産業」の活性化



【令和4年度6月補正予算額 76,720千円】

1 目的 少子高齢化や若い世代の都市圏への転出超過により、県内企業が直面している「人材不足」に対応するため、良質な雇用を創出し、本県の産業発展の原動力である「ものづくり産業」の活性化を図る。

2 事業内容 **⑨ 徳島ものづくり産業雇用創造プロジェクト** 76,720千円

- (1) 企業・事業主向け支援
 - ・DX推進による業務効率化のための専門家派遣
 - ・多様な働き方の実現による働きやすい職場づくりのためのセミナー実施や専門家派遣
 - ・商品開発やブランディング、情報発信等の強化による伝統産業活性化のための相談支援や展示会出展支援
- (2) 労働者・求職者向け支援
 - ・若年労働者の職場定着に向けたセミナーや合同研修の実施
 - ・「阿波のヤングマイスター」をはじめとする高度な技能習得のための中堅・若年技能者のスキルアップ研修の実施
 - ・若年求職者の個々のニーズに応じた職場体験やインターンシップの実施
- (3) 就職促進支援
 - ・UIJターン人材への効果的かつ積極的な情報発信、マッチング支援
 - ・多様な人材の活躍に向けた潜在的な求職者の発掘と就職支援
 - ・キャリアサポート推進員による職業訓練を受ける求職者の「製造業」への就職・定着支援

担当：労働雇用戦略課、企業支援課、産業人材育成センター、観光政策課

① 高校と地域を魅力化！未来へつなぐ総合寄宿舎整備事業



【令和4年度6月補正予算額 53,200千円】
 【令和5年度債務負担行為設定額 10,600千円】
 【令和5～10年度債務負担行為設定額 478,700千円】

1 目的 県立高校総合寄宿舎の増設により、受入れ体制の充実や安全・安心な寮生活を
 実現することで、県内はもとより全国からの入学生の増加を図り、
 高校を核とした持続可能な地域の魅力化・活性化を推進する。

2 事業内容 (1) ① 総合寄宿舎（三好寮）増設事業 47,900千円

県外からの入学希望者が増加し満室状態にある総合寄宿舎（三好寮）の増設を、
 県市協調により行い、三好市施設を併設する形とすることで、入学生の増加に
 つなげるとともに、高校生と地域のさらなる交流を促進する。

- 建築予定地の地質調査
- 実施設計（一部、令和5年度債務負担行為を設定 10,600千円）

(2) ① 総合寄宿舎（阿南寮）増設事業 5,300千円

県内遠隔地や県外からの入学希望者の増加により満室状態にある総合寄宿舎
 （阿南寮）をリース方式により増設することで、県内外から生徒が集う多様性のある
 学校づくりを進め、高校の魅力化を図りつつ、新たな人流の促進を図る。

- 建築予定地の土壌調査
- リース方式による宿舎増設（令和5～10年度債務負担行為を設定 478,700千円）

⑨ 教育DXの基盤となる情報モラル教育の推進



【令和4年度6月補正予算額 4,174千円】

1 目的 県と市町村が連携して、1人1台端末環境における情報モラル教育の在り方に関する研究や、デジタルコンテンツを活用した取組みを実施することで、教員のICT活用指導力の向上、児童生徒の情報モラルの育成及びICTの適切な利活用の推進を図る。

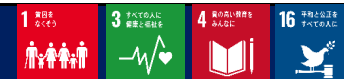
2 事業内容 **⑨ GIGAスクールにおける学びの充実「情報モラル教育推進事業」 4,174千円**

小・中・高・特別支援学校のモデル校において、1人1台端末環境における情報モラル教育について実践的な研究を行い、全県展開の推進を図る。

○取組内容

- ・徳島県独自に作成する教材の授業等での活用による情報モラル教育の活性化
- ・デジタルコンテンツを活用した「レベルアップ型情報モラル教育」の実施
- ・公開授業や実践発表等による研究成果の発信及び普及 など

3 S との連携による教育相談体制の強化



【令和4年度6月補正予算額 2,200千円】

1 目的 児童生徒の抱えている問題や置かれている環境が複雑化・多様化し、学校だけでは解決が困難な事例が増加している現状を受け、学校と3 S（スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、スクールロイヤー）が連携・協働し、チーム学校として諸課題に取り組むことができる教育相談体制の構築を図る。

2 事業内容 **3 S 活用モデル事業** 2,200千円

- スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、スクールロイヤーが、それぞれの専門的な知識や技能を活用し、チームとして生徒指導上の諸課題の解決に連携して取り組む徳島ならではの生徒指導ネットワーク体制を構築する。
- 3 S 推進モデル校を設置し、学校と3 S が協働する教育相談体制の強化に資するモデルを構築するとともに、県内他校への横展開を図る。